

公立大学法人大阪 令和4事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
(事務局 大阪府府民文化部府民文化総務課)

公立大学法人大阪の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府市公立大学法人大阪評価委員会による評価を受けることとなっており、令和5年8月7日に開催された令和5年度第4回評価委員会において、令和4事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗している」

○ 大項目について、4項目がA評価（計画どおり進捗）、3項目がB評価（おおむね計画どおり進捗）であることを確認した。

○ 委員会コメント

大阪公立大学の開学初年度において、統合した大学の運営に着実に取り組み、全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗していることは評価できる。

今後、大阪公立大学において、教育の充実や大学の強みを活かした研究の推進、さらなる産学官連携など、研究成果を社会に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与することを期待する。

また、大阪公立大学工業高等専門学校においては、DX（デジタル・トランスフォーメーション）教育の推進など、社会から求められる高度な実践的技術者の育成に向けて取り組むことを期待する。

さらに、法人においては、大阪公立大学等の魅力や研究成果を、府民及び市民、ひいては社会に広く情報発信されるよう積極的に広報の取組を推進するとともに、業務の効率化及び適正化に取り組むなど、引き続き、法人運営における取組の充実・強化を期待する。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
	S	A	B	C	D	
大阪公立大学に関する目標	S	A	B	C	D	大学院課程教育の充実、課外活動支援、キャリア支援、入学者選抜、研究力の強化、研究推進体制の整備、諸機関との連携、生涯学習への貢献、高度専門医療人の育成の取組において目標を上回って実施している。他の項目も年度計画を順調に実施しており、総合的に判断し、計画どおりに進捗していると評価した。
大阪府立大学工業高等専門学校に関する目標	S	A	B	C	D	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの修得率が未達成となっているものの、産学連携の推進や生涯学習への貢献に向けた取組を進めるなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりに進捗していると評価した。
大阪府立大学及び大阪市立大学に関する目標	S	A	B	C	D	就職支援イベントの開催実績や就職率が目標を上回るなど、両大学のキャリア支援の取組において目標を上回っている。他の項目も年度計画を順調に実施しており、総合的に判断し、計画どおりに進捗していると評価した。
業務運営の改善及び効率化に関する目標	S	A	B	C	D	新大学運営体制の決定に向けた取組が未達成であったものの、ダイバーシティの推進に向けた取組を進めるなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりに進捗していると評価した。
財務内容の改善に関する目標	S	A	B	C	D	自己収入の確保や業務の効率化および適正化の取組において、年度計画を順調に実施しており、総合的に判断し、計画どおりに進捗していると評価した。
自己点検・評価及び情報提供に関する目標	S	A	B	C	D	研究プレスリリースの発信や英語での研究リリース情報の発信件数や、大阪公立大学について新聞、テレビ等のメディアで取り扱われたことなど、戦略的広報の取組が目標を上回っている。他の項目も年度計画を順調に実施しており、総合的に判断し、計画どおりに進捗していると評価した。
その他業務運営に関する重要目標	S	A	B	C	D	コンプライアンスの推進について、十分に目標を達成できなかったものの、再発防止に取り組んでおり、計画的な施設整備など、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりに進捗していると評価した。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり